

〈特集1〉芸短フェスタイベント報告!

10月から始まった「芸短フェスタ2013」もいよいよ後半にさしかかりました!
今回の特集は、これまで開催したイベントの様子をお伝えします。



第49回 定期演奏会

10/14

毎年10月にIlichikoグランシアタで開催する本学 音楽科の最大イベント。芸文短大音楽科の全学生と教員、卒業生らが出演者そしてスタッフとして総力を挙げて取り組んでいるもので、今年度は管弦打に焦点を充てた内容でした。マーラー作曲 交響曲第1番「巨人」をメインに、ワーグナーとヴェルディ生誕200年を記念し、彼らのオペラの名曲を混声合唱とともに披露。パンダ(舞台外の楽隊)を使った臨場感あふれる舞台と大編成で迫力のある演奏に、多くの方々を魅了されていました。



大分国際車いすマラソン交流イベント

10/18

毎年「大分国際車いすマラソン大会」の時期に合わせて行うイベント。今回は、パラリンピックや世界選手権など、数多くの大会に出場する車いす陸上競技界のプロアスリート・廣道純選手による講演を行いました。講演では、車いす生活になった頃からプロアスリートとなった現在までのお話をされました。英語も分からないまま海外へ行き、車いすマラソン世界記録保持者の元へ弟子入りしたり、突然会社を辞め、保証もないプロの道へと進むなど、行動力あふれるアクティブ人生に聴講した方々も興味深く聞き入り、多くの事を得たようでした。

専攻科造形専攻 制作展

10/29~
11/3

本学 専攻科造形専攻1年生による作品展。洋画・彫刻・ミクストメディア・ビジュアルデザイン・陶磁・プロダクトデザイン・テキスタイルなど、学生たちの自由な表現による作品の数々を展示。日頃の学習の成果を発表しました。



ideal Picture

10/12~
11/10



「the bridge」内オルタナティブスペースにて開催した九州芸術系大学の教育研究機関が交流する企画展。様々なアーティストたちが「写す」ということを印刷、版画、写真、グラフィック、映像で表現しました。初日は、本学専攻科 田中愛理さんによる公開制作「[生の痕跡]の複製行為」を行いました。「無」であった白壁が、彼女の手によってどんどん作品が広がっていき、観覧に来られた方々は、その様子を息を飲むようにして見つめていました。会期中は大分市美術館館長 菅章氏をモデレーターに迎え、「メディアコピーとアウラー「写す」芸術とは?」を開催、デジタル表現「メディアコピー」が前提にある現代の表現感覚について議論しました。

国際理解ワークショップ

10/13

「ケータイを通して考える私たちと世界のつながり」と「学生と一緒に考える～世界の貧困問題と私達にできる事～」の2つの議題について、本学 国際総合学科の教員と学生がホルトホール大分とIlichiko総合文化センターでワークショップを行いました。参加された方々は、実際に自分が体感・実感することにより、ただ新聞やニュースなどで見聞きするよりも、さらに深い関心・興味が沸いたようでした。そして、自分たちに何かできること、しなければならないことは何かということを変更して考える時間になり、それは大きなことから、日常でできる小さな事までたくさんあるのだということが分かりました。



第52回 芸短祭 ~爆発~

10/19, 20

恒例のステージイベントでは、サークルショーをはじめダンス&サイレントコメディ「GABEZ」、マジシャン「Wazuma HIRO」、大分のご当地アイドル「Chimo」と「Niimo」など豪華ゲストの登場で大いに盛り上がりました。またサークル・ゼミによる出店では、大分の郷土料理「とり飯」や中国留学生が作る本場の味「中国の煮もの」、スパイシーな「タコス」などなど、多国籍なフードメニューがずらり。マレーシア雑貨やフェアトレード商品、美術科学生による作品といった小物類などの販売も行い、賑わいました。

